

宮崎県アドベンチャーツーリズム研修会運営業務委託仕様書

1 目的

主に欧米豪からの外国人観光客誘致において高付加価値で持続可能性のある旅行としてアドベンチャーツーリズム（以下「AT」※という）が注目されており、本県においても、県内観光関係者を対象としたATに対応した人材育成と、AT促進の機運醸成とを目的とした研修会を実施するもの。

※アクティビティ、自然、異文化体験のうち2つの要素以上で構成される旅行形態

2 委託期間

契約締結日から令和5年3月31日まで

3 委託業務の内容

(1) 研修会の企画・運営

① 研修内容

次の事項に留意して事業目的及び本県におけるAT展開方針（別紙）を踏まえた提案を行うこと。

ア ATの基礎知識の習得をメインに実施した昨年度の内容を踏まえつつ、ATに対応した商品造成や人材育成を目指すことを目的とした、より発展的な内容とすること。

イ 今年度新たに参加する参加者も、ATの基礎知識（ATの概要や推進する意義等）を理解できる内容とすること。

ウ 参加者同士や、参加者と県内でインバウンド誘客に取り組む関係者との連携・協力関係の構築を推進する内容とすること。

エ 講師には国内で先進的な取組を実践している者を入れること。

オ 九州内の先進的な取組を実践している地域の視察研修を組み込むこと。

カ 講師及び視察研修の調整・手配は委託事業者において行うこと。

② 回数

計3回以上とし、研修会の目的を達成するのに効果的な回数を提案すること

③ 開催方法

参加者が実際に集合して実施することを基本とするが、研修内容等に応じてオンラインでの開催とすることを妨げない。

④ 開催場所

県内行政機関会議室又は民間会議室

委託事業者決定後に県と協議して決定するものとする。

(2) 研修会の周知・広報

ATに意欲的な人材発掘を目的に、本研修会の開催について対象者に広く周知・広報を行うこと。またその手法について、提案すること。

・想定参加者：20名程度

（対象者：インバウンド誘客に取り組む県内観光事業者、行政機関、観光ガイド等）

(3) 報告書の作成等

事業終了後、以下の内容をまとめた業務報告書を提出すること。併せて、次年度以降、本県が事業を実施するにあたり公表可能な報告書（概要）も併せて提出すること。

報告書は印刷製本2部及びその電子データをCD-Rで1部提出すること。

- ① 事業の全体概要及び研修成果
- ② 研修会実施を通して収集した県内AT素材の整理
- ③ 本県のAT推進に係る提案

4 企画提案に当たっての留意点

- (1) 委託事業費には、研修実施に係る研修企画費、運営費、講師手配に係る経費（調整費、旅費、謝金等）、視察研修手配（調整費、謝金、体験費等）、会場費全てを含むものとする。
- (2) 視察研修を実施する際の現地までの旅費は参加者負担とするが、宿泊を伴う場合の宿泊費は委託料に含むこととする。

5 その他の留意事項

- (1) 本業務の実施にあたっては、実施内容を事前に協議するなど、委託者との緊密な連携のもと、迅速かつ効果的・効率的な遂行を心がけること。
- (2) この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、または、この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて委託者と受託者が協議のうえ定めるものとする。
- (3) 本業務を円滑に遂行するため、委託者は受託者に対して業務の進捗状況について報告を求められることができる。

(別紙)

本県における A T 展開方針

R3	<ul style="list-style-type: none">●地域の関係者の巻き込み●機運醸成 <p>【R 3 研修概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・外部講師による研修 A T 概要、A T 誘致に向けた国の動きと地域の役割、九州における取り組みと今後の方向性、先進地域の取り組み、コンテンツ開発のポイント、商品開発に向けた課題・ワークショップ 地域のシーズ（資源）と顧客ニーズのマッチング、コース（アクティビティ）策定
R4	<p>●各地域におけるATコンテンツの整理、コース（アクティビティ）策定の深掘り</p>
R5以降	<ul style="list-style-type: none">●プロダクト（商品）づくり●ガイド人材育成●コーディネーター人材（※）育成 <p>※エリアを繋げ周遊型のツアーを造成・運営できる人材</p>